

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	専攻ダンススキル9(コレオグラファー専攻)	
科目基礎情報					
開設学科	ダンスパフォーマンス科	コース名	コレオグラファー専攻	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	実習
教科書/教材	適時レジュメ・資料を配布する				
担当教員情報					
担当教員	SHIGE		実務経験の有無・職種	有・プロダンサー	
学習目的					
コレオグラファーとして様々な要求に対応できる振付のバリエーションを学ぶとともに、ミュージックビデオ、コンサートなどダンスの目的を理解したうえで制作をする為の知識を実践演習を中心に学んでいきます。					
到達目標					
この科目では振付師になる為に必要な知識、技術を学び、卒業公演では振付から構成、照明プランの作成まで作品（ナンバー）を制作できるようになる事を目標とします。					
教育方法等					
授業概要	コレオグラフ技術指導、課題発表、修正ディスカッションのローテーションで作品作りの実習を行います。また様々なジャンルの振付けに対応できるダンス技術を実技形式で学びます。				
注意点	授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	導入レッスン		振付師の職業を理解する		
2回	振付課題実技指導①		SHIGE講師の振付を覚え実践できるようになる		
3回	振付課題に繋げるパート制作①		前回授業の課題に繋がる振付を自分自身で制作し、完成させる		
4回	課題発表・講評①-1		ヒップホップの振付を制作した学生の課題発表とアドバイスを行う		
5回	課題発表・講評①-2		ジャズの振付を制作した学生の課題発表とアドバイスを行う		
6回	振付課題実技指導②		SHIGE講師の振付を覚え実践できるようになる		
7回	振付課題に繋げるパート制作③		前回授業の課題に繋がる振付を自分自身で制作し、完成させる		
8回	課題発表・講評②-1		ヒップホップおよびハウスの楽曲を用いて振付制作をした学生の制作発表を行う		
9回	課題発表・講評②-2		ジャズおよびヒールダンスの楽曲を用いて振付制作をした学生の制作発表を行う		
10回	振付課題実技指導③		SHIGE講師の振付を覚え実践できるようになる		
11回	振付課題に繋げるパート制作③		前回授業の課題に繋がる振付を自分自身で制作し、完成させる		
12回	課題発表・講評③-1		女性アーティストの楽曲を課題にした学生の制作発表とアドバイスを行う		
13回	課題発表・講評③-2		男性アーティストの楽曲を課題にした学生の制作発表とアドバイスを行う		
14回	振付課題曲提出・振付制作		自分自身で振付をしたい楽曲を選び既定の時間内に収まる振付を制作する		
15回	課題発表・講評		課題の発表及び講師から修正ポイントのアドバイス・全員で各学生が制作した振りを覚え実践する		